

# 新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 24-097	
研究課題名	当院におけるICIによる急性肝不全の臨床像
情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	2016年1月～2024年12月に当院で免疫チェックポイント阻害剤(ICI)が使用された症例は958例あり、有害事象共通用語基準 Grade3以上の肝障害は26例に認められ、うち2例が急性肝不全を呈しました。この2例の臨床像を他の24例と比較し、その臨床像を比較しました。調査結果は学会に報告する予定ですが、個人情報情報は情報加工し、個人が特定化される情報が公表されることはありません。他の医療機関に個人情報を提供することはありません。
利用または提供する情報の項目	診療記録, 血液検査の記録, 画像診断検査の記録など
対象者及び対象期間	2016年1月～2024年12月に当院で免疫チェックポイント阻害剤(ICI)が使用された症例のうち有害事象共通用語基準 Grade3以上の肝障害を発症した26例
利用の範囲	新潟市民病院 消化器内科
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟市民病院 消化器内科副部長 大崎 暁彦
問い合わせ先	新潟市民病院 消化器内科副部長 大崎 暁彦 TEL:025-281-5151(代表)
研究代表機関	
備考	